

交付金事業評価基準

評価区分	評価基準
非常に効果があった。	実績が目標値を上回った。
相当程度効果があった。	目標値は上回らなかったが、目標値の7～8割程度の実績があった。
効果があった。	目標値は上回らなかったが、事業開始前よりも改善した。
効果がなかった。	実績が事業開始前の数値より悪化している。

地方創生交付金関連事業一覧(令和元年度)

交付金種類	事業名	交付決定額 (円)	実績額 (円)	評価 (案)
地方創生 推進交付金 (1/2)	小山町DMO推進事業	5,000,000 (10,000,000)	4,999,830 (9,999,660)	効果があった。
	自己実現型定住促進事業	7,500,000 (15,000,000)	7,486,171 (14,972,342)	相当程度効果 があった。
	小 計	12,500,000 (25,000,000)	12,486,001 (24,972,172)	/

平成29年度～令和元年度事業

交付金種類	事業名	事業費見込 (千円)	実績額 (千円)	備考
地方創生応援税制 (企業版ふるさと納税)	<ul style="list-style-type: none"> ・森村橋復元修景事業 ・豊門公園修景事業 ・豊門会館、西洋館大規模修繕事業 	982,360	1,065,511	収入見込(千円) <ul style="list-style-type: none"> ・企業 326,200 ・個人 380,000 ・県補助 293,800
H29年度	(主要事業) <ul style="list-style-type: none"> ・豊門公園修景事業 	251,440	159,962	収入実績(千円) <ul style="list-style-type: none"> ・企業 56,410 ・個人 53,552 ・県補助 50,000
H30年度	(主要事業) <ul style="list-style-type: none"> ・豊門会館大規模修繕事業 ・森村橋復元修景事業 	353,500	188,442	収入実績(千円) <ul style="list-style-type: none"> ・企業 100,100 ・個人 40,142 ・県補助 48,200
R1年度	(主要事業) <ul style="list-style-type: none"> ・西洋館大規模修繕事業 ・森村橋復元修景事業 	374,960	717,107	収入見込(千円) <ul style="list-style-type: none"> ・企業 2,500 ・個人 681,207 ・県補助 33,400

少子化関連交付金関連事業一覧(令和元年度)

交付金種類	事業名	交付決定額 (円)	実績額 (円)	評価 (案)
地域少子化対策 重点推進交付金 (1/2)	まちづくり結婚応援事業	1,587,000 (3,174,000)	1,522,240 (3,044,480)	効果があった。
	小 計	1,587,000 (3,174,000)	1,522,240 (3,044,480)	
ふじのくに少子化 突破戦略応援 事業費補助金 (1/2)	金太郎ファミリープロジェクト推進事業	3,998,700 (7,997,400)	3,998,500 (7,997,000)	相当程度効果 があった。
	就学前給食・食育推進事業	1,450,000 (2,900,000)	1,144,466 (2,288,932)	効果があった。
	小 計	5,448,700 (10,897,400)	5,142,966 (10,285,932)	

少子化関連交付金関連事業一覧(令和2年度)

交付金種類	事業名	総事業費 (円)	交付決定額 (円)	備考
地域少子化対策 重点推進交付金 (1/2)	おやま出逢い応援事業	2,646,000	1,323,000	
	小 計	2,646,000	1,323,000	

令和元年度 地方創生推進交付金の実施状況

事業名	小山町DMO推進事業(商工観光課)
-----	-------------------

1. 事業の概要

<p>(1)DMOマーケティングエリア拡大のための資料収集・調査 マーケティングエリア拡大を見据え、小山町に隣接する神奈川県南足柄市で実施された町おこしイベント(田植え体験)を視察調査した。また、今年度からの新事業である「スマホで写真コンテスト」の公告チラシを作成し、PRと連携を兼ねて近隣市町に配布した。</p> <p>(2)小山町観光案内所における来訪者への情報提供機能の強化 携帯型翻訳機を新たに購入し、従来から導入している同時通訳システムと併せ、外国人観光客への多言語対応を可能にした。また、観光協会のホームページを随時更新し、最新の情報を拡散できるよう努めた。</p> <p>(3)地域ブランディングの確立 SNSを最大限利用した新たな取り組みとして「スマホで写真コンテスト」を開催し、町内の魅力的なスポットの発掘と発信を行って交流人口拡大に努めた。</p> <p>(4)豊富な自然資源を生かした着地型旅行商品の造成 県内で唯一の公認クアオルトコースを町内外に周知して健康ウオーキングへの参加者を増員するため、特設のホームページを開設した。また、乗用車で町来訪者に向け、町公認インスタグラマー提供の写真を使ったドライブマップを作製した。</p> <p>(5)自転車を活用したまちづくりの推進 タイヤチューブ入り自動販売機、サイクルラックを引き続き町内に設置し、自転車で町内を巡ることができる環境整備に努めた。また、小山町を自転車の聖地とするため、町内で開催する自転車レースやイベントをバックアップした。</p>
--

2. 経費等

計画額	実績額	開始年月	完了年月	備考
10,000,000	9,999,660	H31.4	R2.3	

3. 重要業績評価指標(KPI)の達成状況

項目	現状値	目標値	R1年度 目標値	R1年度 実績値	KPI 達成状況	備考
観光客数	430万人 (H28)	540万人 (R3)	500万人	408万人	×	
宿泊客数	11万人 (H28)	15万人 (R3)	13万人	21万人	○	
旅行消費額	— (H28)	2,754百万円 (R3)	2,499百万円	3,844百万円	○	

4. 評価(案)

評価(案)	効果があった。
<p>・スマホで写真コンテストのチラシを配布する際、近隣市町の行政職員や観光協会と様々な打合せをする機会に恵まれ、DMO組織構築に向けたビジョンを明確にできた。</p> <p>・携帯型翻訳機を購入し、観光案内所に従来から設置していた同時通訳システムと併用することにより、インバウンド対応がスムーズになり、おもてなしの質を向上できた。</p> <p>・「第1回スマホで写真コンテスト」を開催し、応募総数580点の中から11点の入賞作品を決定した。撮影場所が地図に掲載される仕組みにより、町内のビュースポットを広く紹介できた。</p> <p>・これまで町民だけに認知されていた、県内で唯一のクアオルト研究所認定ウオーキングコースの特設ホームページを作成し、町外にPRすることができた。また、スタンプラリーを組み込んだドライブマップにより、乗用車で町を訪れる方々の利便向上に繋がった。</p> <p>・従来から開催してきた各種自転車レースに加え、観光協会や町民体育大会実行委員会と連携してキッズバイクレースを開催し、“自転車を活用したまちづくり”の底辺拡大に寄与することができた。</p> <p>・KPIは3項目中2項目で目標値を上回ったが、新設の宿泊施設と既存の大規模観光施設に因るところが大きい。町内全域で成果を挙げられる体制を整えていくことが課題である。</p>	

令和元年度 地方創生推進交付金の実施状況

事業名	自己実現型定住促進事業(都市整備課)
------------	---------------------------

1. 事業の概要

<p>①地域経済活性化システム構築事業(期間:R1.5.1~R2.3.23、事業費:7,995千円、計画額:8,000千円)…延べ参加人数:90名 若者の移住促進を目的とした事業として、町内での新規事業開拓、起業、開業を志す企業・団体・個人に対して、ビジネスを学ぶ機会と資金の提供を行い、町内での”魅力ある働き先”を創出すると共に、町内への若者のUターン促進を図るもの。 ・小山町ビジネスプランコンテスト アントレ塾の開催(全4回、延べ参加人数:66名) ・ブラッシュアップセミナーの開催(全2回、延べ参加人数:8名) ・小山町ビジネスプランコンテストの開催(参加組数:4組)</p> <p>②女性活躍ネットワーク構築事業-1(期間:R1.5.1~R2.3.5、事業費:2,488千円、計画額:7,000千円)…延べ参加人数:35名 子育て世帯の女性による企業家育成を目的とした事業として、これまでスキルアップや女性同士のネットワーク作りの支援を行ったが、ビジネスプランはあっても実現に至るまでに難しいという観点から、過去5年間で町に移住した女性を対象に実態調査を行い、その結果を踏まえ定住促進施策の課題を解決し、更には女性視点による課題解決策の実践を通じ起業意識の醸成を図るもの。 ・アンケートで得た情報を基に対象者との対面インタビュー及び解析の実施(対象者13名) ・移住定住助成の交流会実施(全5回、女性:22名、14家族)</p> <p>③女性活躍ネットワーク構築事業-2(期間:R1.5.1~R2.3.10、事業費:4,490千円、計画額:同上)…延べ参加(使用)人数:165名 町内在住の女性が自己実現し、女性が活躍できる環境整備を行い、情報交換の場や相談できる場を創出することで、起業やフリーランスの醸成を図るもの。 ・オヤマジョスクールの開催(全7回、延べ参加人数:68名) ・ワーケーションラボの開催(全2回、延べ参加人数:44名) ・となりのワーケーションの開催(全2回、延べ参加人数:17名) ・おやマルシェの開催(全1回、参加人数+来客数:約400名うち17名出席参加者) ・小山コミュニケーションファクトリー(CF)の運営(延べ使用人数:19名)</p>
--

2. 経費等

計画額	実績額	開始年月	完了年月	備考
15,000,000	14,972,342	R1.5	R2.3	

3. 重要業績評価指標(KPI)の達成状況

項目	現状値	目標値	R1年度 目標値	R1年度 実績値	KPI 達成状況	備考
社会増減数(転入者数-転入者数)	▲218人 (H28)	▲38人 (R3)	▲78人	▲200人	×	転入者1,003-転出者1,203 =△200
ビジネスプランコンテスト参加者数(累計)	7人 (H28)	35人 (R3)	25人	22人	×	4組参加
女性起業家数(累計)	0人 (H28)	11人 (R3)	15人	7人	×	2件(飲食業、鍼灸)
総事業参加者数(累計)	100人 (H28)	400人 (R3)	300人	956人	○	延べ参加人数:290名

4. 評価(案)

評価(案)	相当程度効果があった。
<p>①地域経済活性化システム構築事業 ビジネスプランコンテストを主体としたアントレ塾(全4回)では、”各回完結型”とし、新規参加者にも理解しやすい工夫を行った。一昨年度行った地元高校生向けのキャリアアップセミナーは、学校側の協力が難しいと考え、ビジネスプランコンテストの事業プランをより実現させるための「ブラッシュアップセミナー」を開催した。本体となるコンテスト参加者は4組(名)で一昨年度の参加組数を下回ったが、その内2名が町内への移住と町内での起業を検討したいという参加者がいたことも事業の効果があったものと考えられる。</p> <p>②女性活躍ネットワーク構築事業-1 就労している女性が多いことから、ネットによる回答形式で行い、町内移住者のヒアリングに努めた。さらに回答者の中から抽出した13名と対面ヒアリングを行い、小山町に対する女性視点の声を収集した。また、交流会(全5回開催)では、これまで交流の機会が少なかった移住者同士や町へ移住に興味がある家族が参加し、小山町での暮らしにおける課題解決と共に、女性の起業への醸成ができた。交流会参加者のうち1世帯(3名うち子供1名)が町の移住につながった。</p> <p>③女性活躍ネットワーク構築事業-2 一昨年度に引き続き小山フィルムコミッションに隣接するコワーキングスペース「小山コミュニケーションファクトリー」を女性同士の交流の場として使用した。オヤマジョスクールでは、首都圏から積極的に参加できるような環境作りや、首都圏のフリーライターにも参加してもらい、首都圏在住者の視点における小山町の魅力や、町内で活動する女性の紹介をSNSやWebで発信し、参加者の集客に努めた。冬に開催した「おやマルシェ」では、参加者自らが「得意・好き」とするもののアウトプットする機会の創出ができ、起業・独立に興味がある女性の後押しができた。</p>	

令和元年度 地域少子化対策重点推進交付金事業の実施状況

事業名	まちぐるみ結婚応援事業(都市整備課)
-----	--------------------

1. 事業の概要

<p>小山町の課題に対し「おやま出逢い応援事業」として、婚活者だけでなく周りの人たちも婚活支援について学ぶ場を提供した。</p> <p>①婚活支援事業を知るための勉強会の実施(全3回) ・みんなで婚活応援講座 第1回:基礎～結婚事情編～ 第2回:実践①～婚活準備編～ 第3回:実践②～交際編～</p> <p>②男性のための恋愛&結婚に前向きになれる体験型講座・交流会の実施(全5回) ・男の恋愛トレーニング「恋トレ」第1回:基礎編、第2回:交際編、第3回:実践編、第4回:未来編 ・交流会(下記女性のための講座と同時開催)</p> <p>③女性のための恋愛&結婚に前向きになれる実践型講座の実施(全1回) ・ハッピークッキング&トーク(料理講座と交流会)</p> <p>④婚活交流カフェの実施(全3回) ・オヤマのタマリバ(マッチングを伴わず、恋愛相談や男女交流ができる場の提供及び講座)</p> <p>⑤結婚支援事業PRパンフレットの作成</p>
--

2. 経費等

計画額	実績額	開始年月	完了年月	備考
3,174,000	3,044,480	R1.5	R2.3	

3. 重要業績評価指標(KPI)の達成状況

項目	目標値	実績値	KPI達成状況	備考
①参加人数(延べ)	90人	50人	×	全3回実施
①勉強会後に婚スケジュールとして活動したいと思った割合	70.0%	58.0%	×	
①婚スケジュールの支援を受けた者の満足度	80.0%	87.0%	○	
②参加人数(延べ)	120人	49人	×	全5回実施
②体験型講座の参加を友人に勧めたいと思った割合	80.0%	86.0%	○	
②結婚に対する活動に前向きになった割合	70.0%	94.0%	○	
③参加人数	30人	7人	×	全1回実施
③実践講座の参加を友人にも勧めたいと思った割合	80.0%	43.0%	×	
③結婚に対する活動に前向きになった割合	70.0%	57.0%	×	
④参加人数(延べ)	40人	44人	○	全3回実施
④おやま出逢い大社の会員登録	32人	5人	×	
④結婚に対する活動に前向きになった割合	80.0%	86.0%	○	
⑤町の結婚支援施策についての認知度	60.0%	61.0%	○	パンフレット発行部数500部

4. 評価(案)

評価(案)	効果があった。
<p>①婚活支援事業を知るための勉強会の実施 婚活者だけでなく、周囲の方々に現在の結婚事情を知ってもらう事で、婚活者に合った接し方やアドバイスを講師から学んだ。参加者からの疑問点にも講師が丁寧に回答するなど講座の満足度は高かった。一昨年度行った「おやま婚スケジュール認定」は行わなかったが、今後、新規おやま婚スケジュールの認定も含め、町が委嘱する相談員との位置づけの検討が必要とされる。</p> <p>②、③男性・女性のための恋愛&結婚に前向きになれる講座および交流会の実施 異性との出逢いから結婚に至るまでのプロセスや付き合い方がわからない男性婚活者を対象とした恋愛トレーニング(恋トレ)を開催し、座学だけでなく、第一印象が決め手という事からスマイルトレーナー講師による体験型講座も行った。また、恋トレの実践編として、男女交流会(マッチングを伴わない)を行った。また、女性を対象としたセミナーは、料理教室を通じて婚活者同士の交流を図ると共に、作った料理のお披露目を兼ねて男女交流会を同時開催として行った。参加した男性は「恋トレ」の成果を発揮する場面であったが、女性から好印象はあまり得られない結果に至った。本来であれば、交流会に参加した女性からの意見を総括して、恋トレの最終回に男性に伝え、今後のステップとして学ぶ機会となる予定だったが、当時発生した台風災害により、イベントの日程が変則的(最終回後に交流会を開催)となり、目的を達する事ができなかった。恋トレ講座は、ここで単発的に終える事なく、様々な事例を取り入れるなどして継続的に行うと効果的と考えられる。</p> <p>④婚活交流カフェの実施 町内の飲食店を閉店後に解放し、誰でも気軽に立ち寄れる場を提供することを目的とするもの。当初は1回につき男女計10名程度を予測していたが、反響があり予想よりも多くの参加者となった。その起因として、①マッチングを伴わないイベントであること②占い師を講師に招いての講座と個別相談が魅力的だったことが挙げられる。これらことから、婚活イベントには積極的に参加できないが、結婚に対する潜在的な意識がある参加者が多いとみられ、今後の婚活事業を含め参加者(特に女性参加者)の参加意欲が増す企画作りが必要とされる。</p>	

令和元年度 ふじのくに少子化突破戦略応援事業費補助金の実施状況

事業名	金太郎ファミリープロジェクト推進事業(都市整備課)
-----	---------------------------

1. 事業の概要

町内の資源を最大限に活用し、町の魅力を町内外に発信すると共に、町での子育て環境に対する満足度を向上させ町への移住定住を図る取り組みとして、令和元年度は以下のような事業を行った。

- ①町内資源を活用した子育て世代の居場所(プログラム)作り
 - ・子育てインストラクター養成講座(全5回)
 - ・自然活用実践プログラム(金太郎森のようちえん&金太郎自然塾)(全4回)
- ②木育をテーマとしたプログラム作り
 - ・担い手となる人材の育成、各プログラムの実施主体の組織作り
 - ・キッズデザイン賞にてマザーツリープロジェクト事業をエントリーし、事業成果を全国へ発信
- ③町外子育て世代の受け入れ態勢作り
 - ・おやませイプロジェクトによる環境整備(ホストファミリー、参加ファミリー募集)
- ④町内外への情報発信
 - ・イベント出展、LINE@を導入し情報発信
 - ・「金太郎ファミリープロジェクト」情報発信・更新(ASUO内サイト,Facebook)

2. 経費等

計画額	実績額	開始年月	完了年月	備考
7,997,400	7,997,000	R1.5	R2.3	

3. 重要業績評価指標(KPI)の達成状況

項目	現状値	目標値	R1年度 目標値	R1年度 実績値	KPI 達成状況	備考
(仮称)子育てインストラクター養成講座参加者数(年度内のべ参加者数)	23人 (H28)	90人 (R1)	90人	100人	○	
町内ホストファミリー世帯数(累計)	4世帯 (H28)	15世帯 (R1)	15世帯	7世帯	×	
ホストファミリーとの交流世帯数(年度内のべ世帯数)	4世帯 (H28)	20世帯 (R1)	20世帯	1世帯	×	
移住体験ツアー等の参加者数(年度内のべ参加者数)	45人 (H28)	120人 (R1)	200人	174人	×	

4. 評価(案)

評価(案)	相当程度効果があった。
-------	-------------

- ①子育てインストラクター養成講座&森のようちえん、金太郎自然塾
保育や自然活動の現場で活躍されている講師を招き、町内開催3回、東京開催2回を実施した。町内開催の講座では、初参加者もいて、金時公園でのイベント活用など、町内資源を活かした仕組み作りのきっかけに繋がった。また、東京開催では、汐見保育学会々長の講演を開催し、参加者の中には小山町の自然体験や暮らしに興味をもってもらい、インストラクターの担い手の発掘や参加者同士の交流を深めることができた。また、森のようちえんと金太郎自然塾については、参加者を首都圏としてターゲットを置いた告知を行った結果、首都圏からのリピーターもいて、町と首都圏との移動の利便性も再認識してもらえたと同時に、町の自然体験を楽しんでもらえた。課題としては、町内にある資源を活用するにあたって、受け入れ先の開発の必要性もさることながら、それに伴う運営側の専門性を高める必要があること。それにより、小山町の資源をより活用しインストラクターの養成に繋がると考えられる。
- ②マザーツリープロジェクトの成果を全国発信
当プロジェクトで企画商品化した「富士山ワトル」と「富士山積み木」が、地域資源を有効利用し、町民と地元企業が協同制作し、子育てに優しい町の取り組みを行ったとして、キッズデザイン賞を受賞した。当賞は自治体の受賞は少ないため、これを好機に町内外に町の魅力発信へとつながった。
- ③町内ホストファミリー世帯数およびホストファミリーとの交流
首都圏に住む子育てファミリーを対象に、上記イベント等でおやませイの参加者を募った。その成果もあり、「森のようちえん」との共同企画で10月に開催し、11組の参加を予定していた。しかし、台風19号の影響を受け中止となってしまった。また、新規ホストファミリーの獲得は、先方との信頼関係を築くのに苦戦し、新規開拓に至らなかった。ステイの実施は1組となったが、これまでにおやませイを体験したファミリーが、その後も数回に渡り町でホームステイをする世帯もいて、移住の検討にも繋がった。

令和元年度 ふじのくに少子化突破戦略応援事業費補助金事業の実施状況

事業名	就学前給食・食育推進事業(こども育成課)
-----	----------------------

1. 事業の概要

・昨年度に引き続き、隣接の小学校から給食を運搬(運搬は一部業務委託)することで町立幼稚園の全歳児の給食を実施した。
 ・農林課が実施している地場産品の地産地消事業「ふるさと給食」を幼稚園にも導入し、幼稚園給食の充実を図った。
 ・就学前給食・食育推進事業について、HP等で町内外へ情報発信し、子育て世帯への移住を促した。
 ・オリンピックに関連した行事食として、町の中学生在が「おもてなし」をテーマに考案した献立を提供し、給食の充実を図った。

2. 経費等

計画額	実績額	開始年月	完了年月	備考
2,900,000	2,288,932	H31.4	R2.3	

3. 重要業績評価指標(KPI)の達成状況

項目	現状値	目標値	R1年度 目標値	R1年度 実績値	KPI 達成状況	備考
未就学児童数	473人 (H28)	480人 (R1)	480人	473人	×	
園生活満足度	79.7% (H28)	85.0% (R1)	85.0%	98.6%	○	

4. 評価(案)

評価(案)	効果があった。
-------	---------

・未就学児童数(3~5歳)の目標値を超えることが出来なかったが、園生活満足度(園に行くことを楽しみにしている)の調査で、多くの保護者から満足している旨の回答を得ることができた。